

ツナグ

辻村深月

「使者」- それは一生に一度だけ、死者との再会を叶えてくれる人。
この物語では生きている間に伝えられなかったことや思いを、再会して伝えろと、新しい発見や気づきを与えてくれる。生きていると大切なことを教えてくれる一冊です！是非手に取ってください！

新潮文庫

S2-A N.S / A.N

のほ本



6

月

77回生

君の臓腑を食べたい

出版社
双葉文庫

著者：住野よる

主人公である「僕」がクラスメイトの山内桜良が秘密で綴っていた日記帳「共病日記」を拾ったことから、始まる物語です。日記をのぞき、山内桜良が病気になることを知ってしまいます。「山内桜良が死ぬ前にやりたいこと」に付き合っていくうちに欠けているところを持っている。それぞれに憧れ成長していきます。 S2-C N.M

ハリーポッターと賢者の石

出版社 群英社
(日本)

著者 J.K.ローリング

1997年にイギリスの小説であるJ.K.ローリングが発表した「ハリーポッターシリーズ」の第1作目でシリーズの原点といわれる作品です。

11歳のお誕生日にホグワーツ魔法学校から入学許可書が届き、自分が魔法使いと知るハリー。そして様々な友達や先生に囲まれ、不思議な冒険をしていく物語です。

映画化もされているのでぜひ見てみてください！

S2-C Y.R

『読書する人だけがにびり着ける場所』



斎藤 孝著 (SBクリエイティブ)

ネット情報にあふれる現代では本は必要ないと思われるかもしれません。この本では、読書をするための素晴らしいと、読書がもたらす特別な場所について書かれています。読書は自分自身だけの特別な時間と空間を作り出すことができる活動です。本を読むことで、自分だけの心地よい場所ににびり着くことができます。この本を読むことで、読書の楽しさや意義について深く考えることができ、自分自身の読書の仕方を見つけるヒントやアイデアを得られると思います。

S2-B A.R

博士の愛した数式 (新潮文庫)

作者=小川 洋子

記憶力が80分しかもたない数学博士とその家政婦さん、家政婦さんの子とものしりの物語です。家政婦の温かさを感ずる作品で、博士がこまごま数学の定義や数の性質について説明する場面もあり、勉強にもなります。数学と人の関係が、数字とともに書かれている、文学と数学の融合が、斬新な作品です。

S2-D T.N